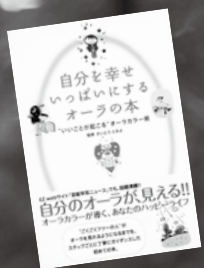


カウンセリング中には、さいとうさんの守護霊の言葉を聞くため、よく胸やお腹や肩に手を置くのだという



☆さいとうとみよ
スピリチュアルカウンセラー。
1971年4月21日、石川県生まれ。
香川県在住で、3児の母でもある。
相談者のオーラや守護霊を
色鉛筆やパステルで絵に描く、
日本で唯一のカウンセラー。6
月に、初の著書『自分を幸せい
っぱいにするオーラの本』（カ
ンゼン刊）を上梓。カウンセリ
ングの詳細は www.saito-tomiyo.com/まで



予約は半年待ちの、開運スピリチュアルカウンセラー・さいとうとみよさんが週刊誌初登場

「あなたのオーラは何色ですか？」

世は空前の「スピリチュアルブーム」だが、香川県在住のスピリチュアルカウンセラーが注目され、全国区となりつつある。

2年前にある知人を通じて3人の相談を受けたことからカウンセリングが始まったが、「人生に幸運が訪れる」とたちまち口コミで広がり、今や予約は半年待ちという盛況ぶりだという。

さいとうとみよ（37）さんの目には、相談者のオーラと守護霊がはつきりに見える。その2つの要素から過去や未来を導きだし、仕事や病気、トラブルの行方、婚期、人生の転機など多岐にわたる分野で、人生を幸せに歩む秘訣をアドバイスしている。

手法はユニークで、色鉛筆やパステルを用い、その人から出るオーラや守護霊の様子を、色紙に描いて説明する。「元々私、絵は上手ではなくて……」

これは、紙に浮かび上がる点線をなぞっているだけ。相談者の守護霊様に導かれ、描かせていただいています。私自身にも、最初からできたわけではなく、以前は見えていたものをそのまま絵に描いていましたが、昨年の暮れに突然、点線が浮かんでくるようになりました。カウンセリングを重ねれば重ねるほどはつきりアドバイスできるようになり、2年前より今の方が具体的な内容になりました。出会いが増えるほどに、私も成長させていただいでい

るのだと感じています」

オーラを見ることで相談者自身の心の状態がわかり、守護霊からの相談者へのメッセージも伝えることができる。

「オーラは、命ある者全てが持つ波動で、その時の心理状態を表わしています。オーラには、体のオーラと心のオーラの2つがあり、その形や色にはそれぞれ意味があります。例えば赤ちゃんを授かる女性には『さくらんぼ』が、双子ならば『えだまめ』の形がみえる。色で性別もわかります。『いちご』は成功のプロムナード。物事を始めるタイミングや、社会的使命もみえてきます。病気になるやすいタイミングもあり、大腸がんや骨髄腫を

早期発見できたという報告もいただきました」

さいとうさんがカウンセリングを始めたきっかけは、自身の離婚だった。

「33歳で離婚し、自分を見つめ直しました。出てきた答えはシンプルで、『自分は生かされている』と悟りました。それから、過去の経緯を礎にし、常に心感謝の気持ちで満たすようにしました。内観と口頭の心がけて、眠っている力が目を覚ましたのだと思います」
この2年間でさいとうさんのカウンセリングに訪れた人数は2000人を超える。現在も、幸せへのアドバイスを求めて、相談者の輪は広がり続けている。